

人生の先輩方と過ごす、充実した日々

平成22年3月からご入居された

杉尾 健一郎様
多恵子様

杉尾様は、熊本市外のご自宅で現役歯科医師として活躍されていた64歳の時に別荘として、グランガーデン熊本にご入居されました。お仕事のある平日はご自宅を過ごされ、病院がお休みの日に、グランガーデンで過ごされるといふ、二拠点生活をされておられました。2年ほど前に、お仕事を引退され、本格的にグランガーデンに拠点を移されました。

奥様は、グランガーデンの建設当初から、将来は絶対にここに入ろうと考えていたそうです。「街中という好立地ということ、老いは必ず来るものなので、何でもできるうちにやっておきたい、娘達には迷惑をかけたくないと考えていました。そんな時に、希望していたタイプの2LDKの部屋に空室が出て、すぐに入居を決めました。」と話されます。

ご主人に、二拠点生活になることに抵抗はなかったかお尋ねすると、「実は結婚してから、再度歯科大学に入学したり、開業してからも、裏方の仕事を献身的に尽くし

てくれた家内へのご褒美として決めました。」と、奥様への感謝の気持ちに溢れたご入居だったそうです。「こんなこと、今まで言ってくれたことなかったから、びっくりです。」と、奥様も嬉しそうです。

ご家族のサポートで日々忙しくされていた奥様は、「グランガーデンを別荘として持てたことで、プライベートな時間が持て、娘夫婦とも良い関係で最後まで仕事ができました。家事担当の私にとっては、このレストランが最高のプレゼントでした。向こうではしっかり動き回り、こちらでは心身ともに休息の時間でした。」と、満面の笑顔で仰います。

2年前にグランガーデンで生活をされるようになり、ご主人の生活は大きく変わったそうです。「ここで親しくなった先輩方と一緒に出かけたり、エクササイズ室で柔軟体操をやりながら、いろんな話ができるのがとても楽しいです。」と、話されます。

奥様も「市内で週1回のストレッチ体操

を24年間続けていて、腰痛に負けないように頑張っています。レストランでの美味しい食事と、大浴場での浴場友達とのおしゃべりも楽しみです。」と、それぞれ充実した日々を過ごされているそうです。

また、ご主人は「ここには様々な職業や経験をお持ちの方がたくさんいて、その方々の体験談を聞くのも楽しみです。スタッフの方に提案して“人生を語る会”を発足して頂きました。第1回は百歳を迎えても心身ともにお元気に過ごされている方に、健康の秘訣やここでの過ごし方の極意をお話しいただき、とても感銘を受けました。近年、『社会的フレイル※』が問題になっていきます。グランガーデンでも、入居されている方同士で、気持ちのいい挨拶を心がけるとともに、プライベートな問題には深入りしない、程よい距離を保つのも大切ですね。」と、お話しくださいました。

※社会的フレイル
加齢に伴って社会とのつながりが
希薄化することによって、経済的困窮の状態になる。

